

講演

海技大学校の海技士教育について

(第114回月例会)

1945年に旧神戸高等商船学校、旧東京高等商船学校、旧清水高等商船学校を統合して海技大学校が設立され、四方を海に囲まれ貨物量の99%以上を国際海上輸送に依存している我国海運界の需要に応えるべく、これまでに多くの外航船員を育成してきました。

1985年のプラザ合意に続く円高により外航船の日本人船員が減少していくなか、海技大学校では内航船員の育成、現役船員に対する実務教育や水先教育を行い、令和7年4月からは一般大学などの卒業者を対象とした2年6カ月間の集中教育による資格取得を目指す新たな制度が始まります。

今回は海技大学校から講師を迎え、海技士教育の現状について講演していただきます。

■講師

独立行政法人 海技教育機構 海技大学校 校長 近藤 宏一 氏

■開催日時

令和7年2月3日(月) 15:00~16:00頃まで

■開催場

神戸市中央区東町115番地 神戸市中央区文化センター 10階
1001-1002会議室(定員 50名)



■主催

公益社団法人 神戸海難防止研究会(担当: 渡川又は藤原)
電話 078(332)2035

入場無料(定員50名)